

【琵琶湖環境研究推進機構研究】

政策課題研究 4

琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と科学的情報発信に関する研究

【研究概要】

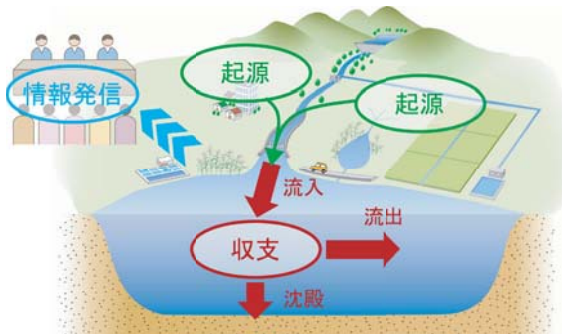
プラスチックごみの環境への負荷の増大が国際的に大きな問題となっており、琵琶湖流域におけるプラスチックの動態を把握するため、その収支を明らかにするとともに、プラスチックの成分調査から主たる起源を明らかにします。また得られた科学的情報の発信にあたり必要な配慮事項を提示します。

【サブテーマ】

- ①陸域・河川におけるプラスチック量の把握とモデル解析
- ②湖内におけるプラスチック量の把握
- ③プラスチックごみに対する意識変容を促す科学的情報発信のあり方調査

【現状・課題】

- ・プラスチックごみに対する人々の意識や行動を変えていくための情報発信のあり方とは
- ・効果的なプラスチックごみの削減対策とは

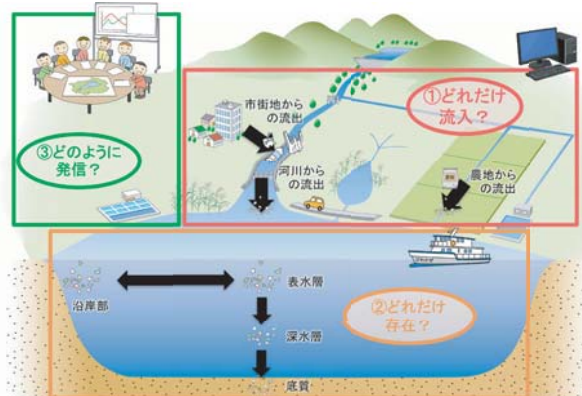


- ・プラスチックごみはどこからどの程度排出されているのか
- ・琵琶湖に流入したプラスチックごみは、どの程度微細片化、沈殿あるいは流出しているのか

【課題解決に向けて】

3 プラスチックごみに対する意識を踏まえた情報発信のあり方

- ・ワークショップ、アンケートによるプラスチックごみ問題の認識等の把握
- ・様々な要因が人々の意識に与える影響について解析



1 陸域・河川のプラスチック流出量の把握

- ・市街地・農地・河川におけるプラスチック量や成分の調査
- ・モデルを用いた琵琶湖に流入するプラスチック量の推定

2 湖内のプラスチック量の把握

- ・北湖および南湖に存在、沈降するプラスチック量や成分の調査

- ・琵琶湖流域におけるプラスチックの収支の概要を明らかにする。
- ・プラスチック流出対策が必要な要点を把握する。
- ・プラスチックごみに対する人々の意識変容を促すために必要な事項を明らかにする。